

潮風と歴史を感じて



▲◀▶門司ではレトロな街並みや船、展望台からの風景や焼きカレーを楽しんだ。



▼関門トンネルを歩いた本校生達は源義経と平資盛の像など、平家物語ゆかりの地を巡った。



修学旅行 1日目 門司港・唐戸編



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号

修学旅行1日目である21日は京都駅を發ち、九州の玄関口・福岡県北九州市にある門司を訪れた。門司港のレトロな雰囲気や山口県の唐戸の壇ノ浦の合戦跡などを周り、歴史を感じる1日となった。

修学旅行1日目は京都駅から新幹線やバスで移動し、福岡県の門司港・山口県の唐戸で自主研修を行った。門司港は1889年に改稿された海外貿易の要となった港だ。月に200隻もの船が入港し、年間600万人もの乗降客でにぎわったという。一帯には商社などが集まり、近代的建造物の建築とともにモダン文化が開花した。今では当時の様相を映す建造物やそれらを利用した資料館・美術館、レトロ気分を盛り上げるグルメが充実していた。関門トンネル人道を歩いたり、フェリーを利用したりして山口県側に渡った生徒たちは、壇ノ浦の合戦の足跡を辿ったり、海の幸に舌鼓を打った。

時間	旅程
8:03	京都駅發 ～新幹線移動～
10:29	小倉駅着 ～バス移動～
11:30～ ～15:45	唐戸・門司港レトロ自主研修
17:15	～バス移動～ ホテル着



▶欠席なく2年生310名全員が修学旅行に参加することができた。

2日目は長崎県のハウステンボスでミッシェンコンフィールドという英語研修や自主研修が行われる予定だ。